

## 「優秀施工者国土交通大臣顕彰」及び 「青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰」について

良質な住宅・社会資本の整備のためには何よりも直接工事に携わる技術・技能に優れた人材が必要不可欠です。また、国民生活の向上に重要な役割を果たす我が国の基幹産業である建設産業にとって、優秀な建設技能者の確保・育成が大きな課題となっています。

国土交通省では、建設産業の第一線で「ものづくり」に直接従事されている方々に誇りと意欲を持っていただくとともに、これらの方々を広く国民に知っていただき、その社会的地位・評価の向上を図っていくことを目的として、特に優秀な技術・技能を持ち、後進の指導・育成等に多大な貢献をされている建設技能者の方々を対象として、優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）を実施しています。

また、次世代の建設現場の担い手を確保・育成すること、建設マスターに達するまでの技術・技能の向上を図ることを目的として、優秀な技術・技能を持ち、今後さらなる活躍が期待される青年技能者の方々を対象として、平成27年度より新たに青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰（建設ジュニアマスター）を設けました。

建設マスターの顕彰は平成4年度より実施していますが、第30回目となる今年度は483名を顕彰し、建設マスターは計11,467名となります。また、平成27年度より新設された建設ジュニアマスターとして今年度は116名を顕彰し、建設ジュニアマスターは計755名となります。

また、今年度の被顕彰者のうち女性は、建設マスターで5名、建設ジュニアマスターで2名となっています。

### ※女性被顕彰者の職種

建設マスター：造園工2名、土工2名、内装仕上工1名

建設ジュニアマスター：タイル工1名、造園工1名

優秀施工者国土交通大臣顕彰の詳細については、下記のホームページをご覧ください。

[http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/1\\_6\\_bt\\_000062.html](http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/1_6_bt_000062.html)

令和3年度被顕彰者の詳細

建設マスター

○ 被顕彰者の年齢構成

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
平均年齢	52.0歳	51.3歳	52.2歳
最も多い年齢(人数)	45歳(34人)	47歳(38人)	56歳(30人)
最低年齢	39歳	38歳	38歳
最高年齢	69歳	71歳	75歳
35～39歳の人数	1人	2人	2人
40～49歳の人数	197人	216人	170人
50～60歳の人数	221人	180人	226人
61歳以上の人数	64人	57人	58人
被顕彰者数	483人	455人	456人

○ 被顕彰者の主な職種

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
土工	70人(14.5%)	61人(13.4%)	56人(12.3%)
大工(型枠大工含む)	43人(8.9%)	42人(9.2%)	53人(11.6%)
建設機械運転工	39人(8.1%)	50人(11.0%)	44人(9.6%)

建設ジュニアマスター

○ 被顕彰者の年齢構成

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
平均年齢	37.3歳	36.4歳	37.3歳
最も多い年齢(人数)	38歳(24人)	37歳(20人)	38歳(22人)
最低年齢	29歳	29歳	29歳
最高年齢	49歳	46歳	44歳
～29歳の人数	1人	1人	1人
30～34歳の人数	15人	29人	16人
35～39歳の人数	83人	66人	69人
40歳以上の人数	17人	13人	19人
被顕彰者数	116人	109人	105人

○ 被顕彰者の主な職種

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
大工(型枠大工含む)	12人(10.3%)	5人(4.6%)	13人(12.4%)
とび工	8人(6.9%)	5人(4.6%)	6人(5.7%)
建設機械運転工	7人(6.0%)	8人(7.3%)	8人(7.6%)